

緩和ケア通信



岩手県立中部病院

平成25年度 Vol.1

ごあいさつ

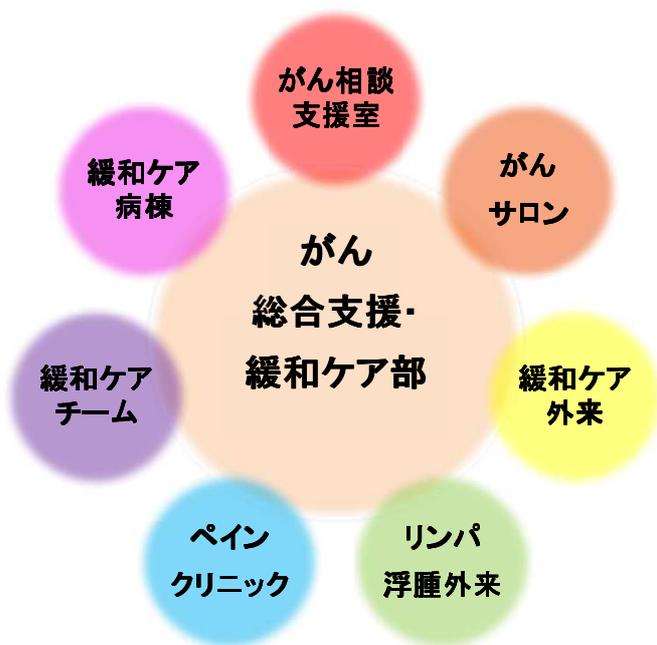
いつも大変お世話になっております。
緩和ケアは、がん対策基本法の中でも重要な位置にあり、すべての医療者に必要なスキルと考えて、病院でも研修会の開催等、力を入れています。当院の緩和ケアは、外来、一般病棟対応チーム、緩和ケア病棟と3本の柱で、何より患者さんのお気持ちを大切にしながら、地域に根ざした運営を心掛けております。ご意見、ご要望をどうぞお寄せください。
2014年は良い年でありますように。

県立中部病院 院長 北村道彦

がん総合支援・ 緩和ケア部とは…

がんと言われたその日から、患者さんご家族は身体だけでなく気持ちや生活の上でも様々な問題に直面することになります。外来でも入院中でも自宅療養中でも、患者さんご家族を地域と連携しながらチームで支える、それが「がん総合支援・緩和ケア部」の役割です。

緩和医療科長 星野 彰



今回は、

がん相談支援室

をご紹介します。

星野医師を交えての
ミーティング♪



スタッフ
医療ソーシャル
ワーカー……3名
看護師……1名
医師……1名
(平成26年現在)

渡邊純子 高橋瑞枝 米内真理子
千葉桂子 竹内今日子

がん相談支援室からのメッセージ

がん相談支援室では、医師・看護師・医療ソーシャルワーカーが皆さんのお話を伺い、一緒に考え、ご相談事や課題解決の糸口を見つけられるようお手伝いさせていただきます。また、必要に応じて、院内外(地域)のスタッフと共に皆さんの「生活と療養」をサポートします。「がん」に関することなら、どんなことでも、どなたでも、ご相談をどうぞ。

医療ソーシャルワーカー 渡邊純子

相談支援の内容

- 1) がん診療にかかる一般的な情報提供(必要に応じて、医師が相談対応)、セカンドオピニオンに関する情報提供
- 2) 地域の医療機関・保健福祉サービス(地域の医療機関の診療機能、各医師の専門分野、訪問診療状況や介護保険・市町村独自事業等に関する情報提供を含む)に関する情報提供、利用案内、連絡調整
- 3) 療養生活上の様々な相談事への対応(精神的問題、経済的問題、家族関係や医療スタッフとの関係など)
- 4) 緩和ケアに関すること(専門外来、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟、在宅サポート支援)
- 5) がん情報サロン「虹」企画運営、ボランティアスタッフとの協働

緩和ケア病棟 入棟の流れ

診療情報提供書

お持ちの場合 ➡ 地域医療福祉連携室に送付

お持ちでない場合 ➡ がん相談支援室に相談

緩和ケア
外来受診

緩和ケア外来受診時に必要なもの



診療情報提供書



検査データ(血液検査、画像情報)

入棟基準



がん であること



苦痛 があること



入棟希望 があること

入棟手順

緩和ケア病棟の見学



入棟希望の確認



入棟判定会議



入棟

※入棟決定後、担当者が患者さん・ご家族に連絡いたします。
※入棟決定後、入棟までの期間を一般病棟や自宅でお待ち頂くことがあります。

緩和ケア病棟の風景



10月の良いお天気の日、おでんせの会の方々が芋の子汁と新米のおにぎりをふるまいました。病棟で穫れたおいしい里芋、大自然の恵みをいただきました。



ボランティアの方々による季節の飾りつけです。

関根医師と星野医師の サンタクロース登場

クリスマス会



オカリナの音色
が涙を誘います。

昨年11月に第4回目の遺族会を行いました。60人のご遺族の方が参加し、亡き人の思い出や近況を語り合い、涙、時には笑いのひとときでした。



サンタとスタッフが病室をまわり、患者さん一人ひとりに愛のメッセージを伝えていきます。ボランティアの方々と栄養科スタッフがクリスマス会を行いました。

編 集 後 記

医療・福祉関連の皆様と連携を取りながら、患者さんやそのご家族の生活並びに療養を支援させていただいています。日々お世話になっている皆様に感謝の意を込めて、がん総合支援・緩和ケア部運営委員会の活動をご紹介します。これからも活動の様子をお知らせしていければと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

広報係 関根義人 西野強 竹内今日子 長原希

岩手県立中部病院

〒024-8507

岩手県北上市村崎野17地割10番地

TEL 0197-71-1511 FAX 0197-71-1414

<http://www.chubu-hp.com/>

